

令和4年度第2回宇都宮市視聴覚ライブラリー運営委員会

日 時：令和5年3月1日（水）
（書 面 開 催）

次 第

1 開 会

2 議 題

- （1）視聴覚ライブラリーの利用状況について（中間報告）【資料1】
- （2）視聴覚ライブラリーの事業実績について（中間報告）【資料2】
- （3）利用者アンケート結果について（報告） 【資料3】
- （4）令和5年度視聴覚ライブラリー運営目標（案） 【資料4】

3 閉 会

宇都宮市視聴覚ライブラリー運営委員会委員名簿

任期：令和3年7月1日～令和5年6月30日

令和5年2月現在（敬称略）

| 区 分 | 氏 名 | 推 薦 団 体 | 所 属 |
|------------------|--------|---------------------------------|--------------------------|
| 学校教育関係者 | 木嶋 香保利 | 宇都宮地区幼稚園連合会 | 御幸幼稚園園長 |
| | 杉本 正子 | 宇都宮市小学校長会 | 宇都宮市立岡本北小学校長 |
| | 高野 寿映 | 栃木県高等学校長会 宇都宮支部 | 栃木県立宇都宮白楊高等学校長 |
| 学校（視聴覚） 教育関係者 | 稲澤 正明 | 栃木県小学校教育研究会宇都宮支部情 報・メディア教育部会 | 宇都宮市立田原西小学校長 |
| | 手塚 弘幸 | 宇河地区中学校教育研究会 情報教育部会 | 宇都宮市立陽南中学校長 |
| | 松本 浩栄 | 栃木県高等学校教育研究会 視聴覚部会 | 栃木県立宇都宮女子高等学校 教諭 |
| 社会教育関係者 | 石塚 勝 | 宇都宮市子ども会連合会 | 宇都宮市子ども会連合会 会長 |
| | 飯田 真也 | 宇都宮市私立保育園協会 | すみれ保育園園長 |
| 学識経験者 | ◎川島 芳昭 | 宇都宮大学 | 宇都宮大学教育学部 自然科学系技術分野教授 |
| | ○坂井 幸一 | うつのみや映写ボランティアの 会 | うつのみや映写ボランティアの 会会長 |

| | | | | |
|-----|-----|-------|--------|-------|
| 事務局 | 所 長 | 大門 和則 | 全総括責任者 | 斧田 壮介 |
| | 副所長 | 戸村 紀子 | 総括責任者 | 千枝 裕美 |
| | 主 任 | 川島 靖子 | 副責任者 | 金谷 英明 |

(1) 視聴覚ライブラリー利用状況について(中間報告)

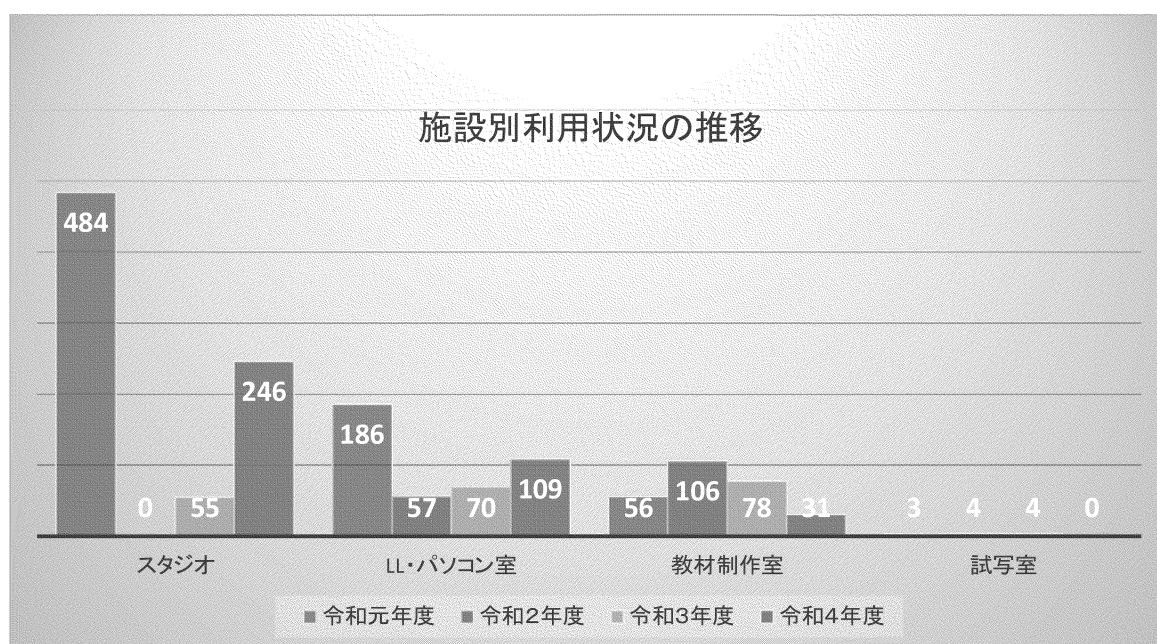
ア 施設別利用状況の推移

| 区 分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 備 考 |
|----------|-------|-------|-------|-------|--|
| スタジオ | 484 | 0 | 55 | 246 | ・令和元年度から令和3年度までは年間の利用状況 ・令和4年度は1月31日までの利用状況 |
| LL・パソコン室 | 186 | 57 | 70 | 109 | |
| 教材制作室 | 56 | 106 | 78 | 31 | |
| 試写室 | 3 | 4 | 4 | 0 | |
| 合 計 | 729 | 167 | 151 | 386 | |

・スタジオは令和3年11月から貸出を再開したが、貸出時間の上限（最長2時間）や利用時間の制限（1日3回、各1時間は換気・消毒のため利用不可）を設けているため、コロナ以前の利用数までは戻らない状況である。

・パソコン室は利用者の固定化への対応とネットワーク機器の高性能化を図るため、通信環境の改善とパソコンの更新に合わせて動画・画像編集ソフトの導入に取り組んだ。今後はパソコン室を活用した講座の充実を図りながら利用を促す。

・教材制作室と試写室については利用が伸び悩んでいることから、今後の設備・機能のあり方の検討を開始する。



イ 視聴覚教材貸出本数

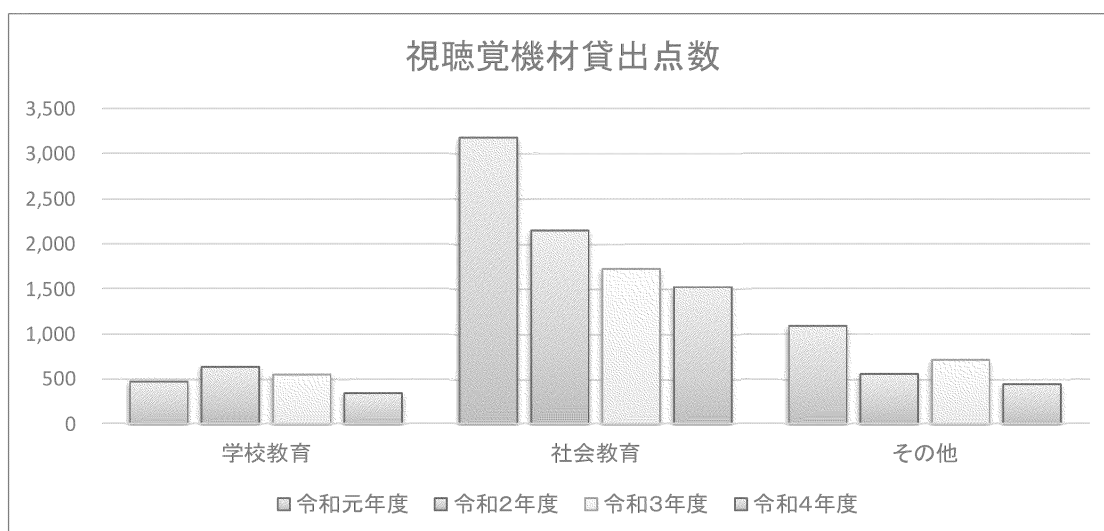
| 区分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 備考 |
|----------|-------|-------|-------|-------|--|
| 16ミリフィルム | 256 | 167 | 196 | 128 | ・令和元年度から令和3年度までは年間の貸出本数 ・令和4年度は1月31日までの貸出本数 |
| ビデオテープ | 21 | 18 | 0 | 4 | |
| ビデオディスク | 929 | 576 | 604 | 468 | |
| その他AV教材 | 0 | 4 | 0 | 7 | |
| 合計 | 1,206 | 765 | 800 | 607 | |

・新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、令和2年度以降貸出数が減少している。今後の社会情勢を見据えながら、PRを強化し利用を促進する。

ウ 視聴覚機材貸出点数

| 区分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 備考 |
|------|-------|-------|-------|-------|---|
| 学校教育 | 475 | 634 | 550 | 344 | ・令和元年から令和3年度までは年間の貸出点数 ・令和4年度は1月31日までの貸出点数 |
| 社会教育 | 3,179 | 2,149 | 1,720 | 1,520 | |
| その他 | 1,089 | 556 | 713 | 443 | |
| 合計 | 4,743 | 3,339 | 2,983 | 2,307 | |

・令和2年度に新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け貸出数が減少した。今後は、教材貸出同様にPRを強化し利用を促進する。



(2) 視聴覚ライブラリー事業実績について (中間報告)

(令和4年4月1日～令和5年1月31日)

ア 貸出事業

| | 事業名 | 対象 | 回数 | 日数 | 参加数 | 前年度参加人数 | |
|-----|--------------|-------------------------|--------|-----|--------|---------|--------|
| 1 | 視聴覚機材・教材の貸出し | 学・社会团体 | 512 | — | 69,315 | 55,071 | |
| | 内訳 | 機材・教材 (16ミリフィルム) の貸出し | 学・社会团体 | 128 | — | 2,215 | 3,884 |
| | | 機材・教材 (ビデオテープ・DVD) の貸出し | 学・社会团体 | 472 | — | 41,975 | 19,134 |
| | | 機材のみの貸出し | 学・社会团体 | 86 | — | 25,125 | 32,053 |
| 2 | スタジオの貸出し | 学・社・一般 | 246 | — | 944 | 224 | |
| 3 | パソコン室の貸出し | 学・社会团体 | 109 | — | 1,962 | 976 | |
| 4 | 教材制作室の貸出し | 学・社会团体 | 31 | — | 34 | 138 | |
| 5 | 試写室の貸出し | 学・社会团体 | 0 | — | 0 | 0 | |
| 合 計 | | | 1,072 | — | 72,255 | 56,409 | |

イ 映画会

| | 事業名 | 対象 | 回数 | 日数 | 参加数 | 前年度参加人数 |
|-----|----------------------|-------|----|----|-------|---------|
| 1 | 日本映画劇場 | 一般 | 20 | 20 | 523 | 277 |
| 2 | 20世紀名画座 | 一般 | 20 | 20 | 408 | 272 |
| 3 | アニメ映画会 (ほしぞら映画会を含む) | 一般・児童 | 20 | 10 | 260 | 360 |
| 4 | 名画鑑賞会 (東市民活動センターホール) | 一般・児童 | 4 | 4 | 289 | 329 |
| 5 | 地域映写会 (映写ボランティア委託) | 一般・児童 | 8 | 8 | 344 | 303 |
| 6 | 出前映画会 (地区市民センターなど) | 一般・児童 | 4 | 4 | 147 | 63 |
| 合 計 | | | 76 | 66 | 1,971 | 1,604 |

ウ 講座・研修等

| | 事業名 | 対象 | 回数 | 日数 | 人数 | 前年度参加人数 |
|-----|--------------------------|----------|----|----|-----|---------|
| 1 | パソコン活用研修 | 学 (幼・保) | 4 | 4 | 8 | 67 |
| 2 | 16ミリ映写機技術者養成講習会 | 学・社・一般 | 2 | 2 | 20 | 20 |
| 3 | 16ミリ映写機技術者再講習会 | 学・社・一般 | 1 | 1 | 1 | 3 |
| 4 | 視聴覚機器利用支援 | 学・社会团体 | 12 | 12 | 12 | 15 |
| 5 | 出張講習会 (団体, 施設向け) | 学・社会团体 | 0 | 0 | 0 | 13 |
| 6 | 録音機器操作支援 (スタジオ利用者向け) | 学・社・一般 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| 7 | 映像編集機操作研修 (制作室利用者向け) | 学・社会团体 | 14 | 14 | 18 | 72 |
| 8 | パソコン室利用者研修 (パソコン講座主催者向け) | 学・社会团体 | 4 | 4 | 53 | 81 |
| 9 | 宮っ子チャレンジウィーク等受け入れ | 中学・高校・一般 | 13 | 13 | 63 | 21 |
| 合 計 | | | 50 | 50 | 175 | 296 |

エ 教材等の制作

| | 事業名 | 対象 | 回数 | 日数 | 参加数 | 前年度参加人数 |
|----|-------------|------|----|----|-----|---------|
| 1 | 各団体の視聴覚教材制作 | 学・社団 | 9 | 12 | 14 | 138 |
| 合計 | | | 9 | 12 | 14 | 138 |

各事業の総合計

| | | | 回数 | 日数 | 参加人数 | 前年度参加人数 |
|-------------|--|--|-------|-----|--------|---------|
| 合計（ア+イ+ウ+エ） | | | 1,207 | 128 | 74,415 | 58,447 |

オ 保存・整理

| | 事業名 | 対象 | 備考 |
|---|--------------------------|----------|-------------------|
| 1 | 地域映像の収集・保存 | 学・社・一般 | 8ミリ映写機の貸出・郷土資料の収集 |
| 2 | 地域映像の撮影・編集 | ボランティア会員 | 本市事業等の撮影・編集 |
| 3 | 視聴覚教材（DVD・16ミリフィルム）目録の作成 | 学・社団 | 10月作成 |

カ その他

| | 事業名 | 対象 | 備考 |
|---|-------------------|----------|--------------|
| 1 | 視聴覚ライブラリー運営委員会 | 運営委員 | 2回開催（7月・3月） |
| 2 | 広報紙「AVLうつのみや」発行 | 学・社・一般 | 2回（4月・2月）発行 |
| 3 | 視聴覚機材・教材の選定，購入，整備 | 学・社団 | DVD16本購入（1月） |
| 4 | 機材・教材等の搬送 | 学・生・地 | 0回 |
| 5 | ホームページの管理・更新 | 学・社・一般 | 随時 |
| 6 | 映写ボランティア等との連携 | ボランティア会員 | 随時 |

※「学・社・一般」：学校教育関係者・社会教育関係者・一般市民

※「学・社団」：学校教育団体・社会教育団体

※「学・生・地」：小中学校・生涯学習センター・地区市民センター

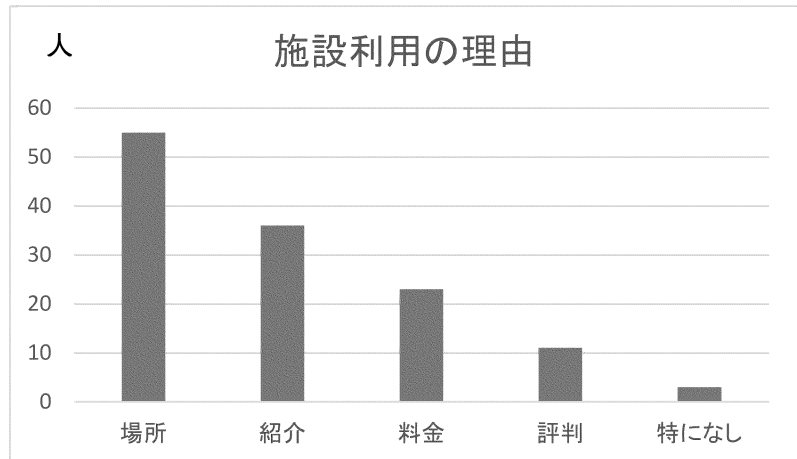
(3)利用者アンケート結果について(報告)

令和4年10月22日～11月12日

回答数=102

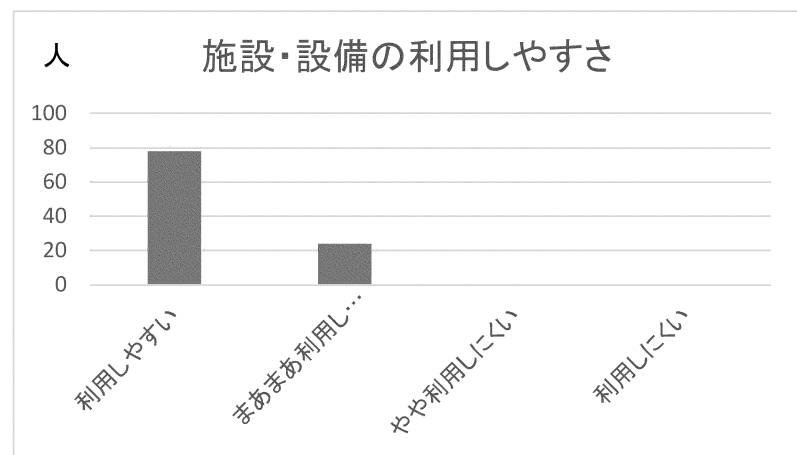
Q1 当施設を御利用(お選び)いただいた理由を教えてください。(複数回答可)

| | |
|------|----|
| 場所 | 55 |
| 紹介 | 36 |
| 料金 | 23 |
| 評判 | 11 |
| 特になし | 3 |



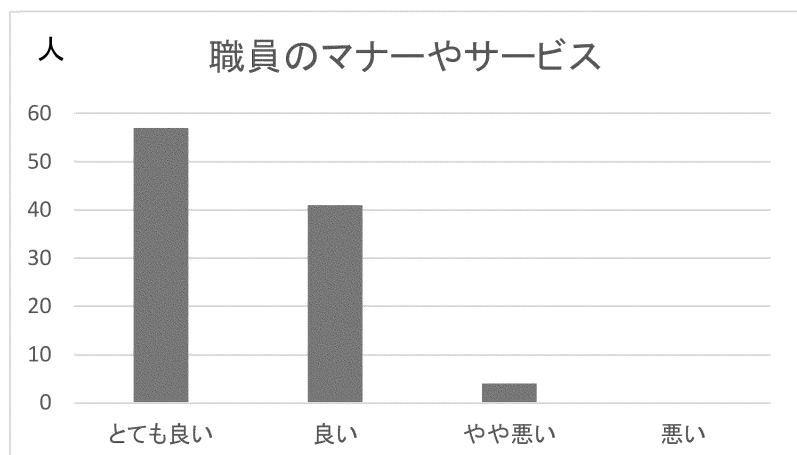
Q2 当施設, 設備の「利用しやすさ」はいかがでしたか?

| | |
|------------|----|
| 利用しやすい | 78 |
| まあまあ利用しやすい | 24 |
| やや利用しにくい | 0 |
| 利用しにくい | 0 |



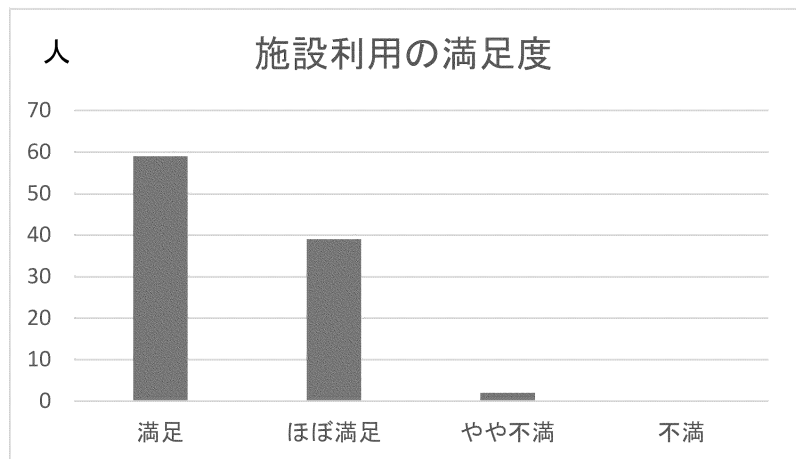
Q3 当施設の職員の「マナー」や「サービス」はいかがでしたか?

| | |
|-------|----|
| とても良い | 57 |
| 良い | 41 |
| やや悪い | 4 |
| 悪い | 0 |



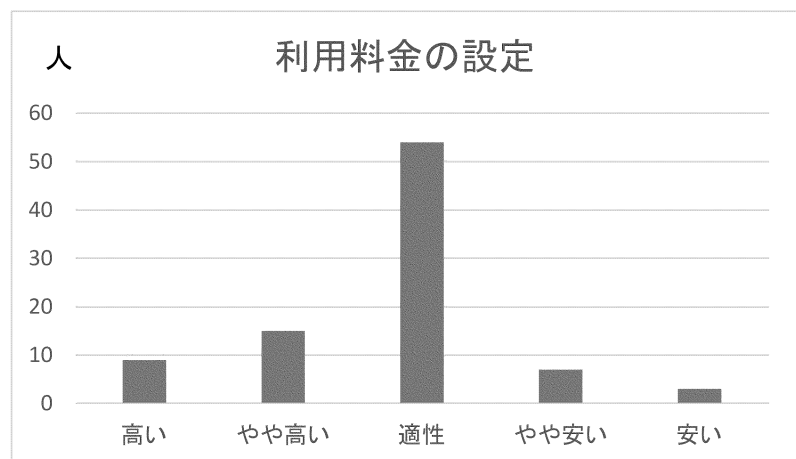
Q4 当施設全体(施設利用及び職員の対応等含めて)の満足度はいかがでしたか？

| | |
|------|----|
| 満足 | 59 |
| ほぼ満足 | 39 |
| やや不満 | 2 |
| 不満 | 0 |



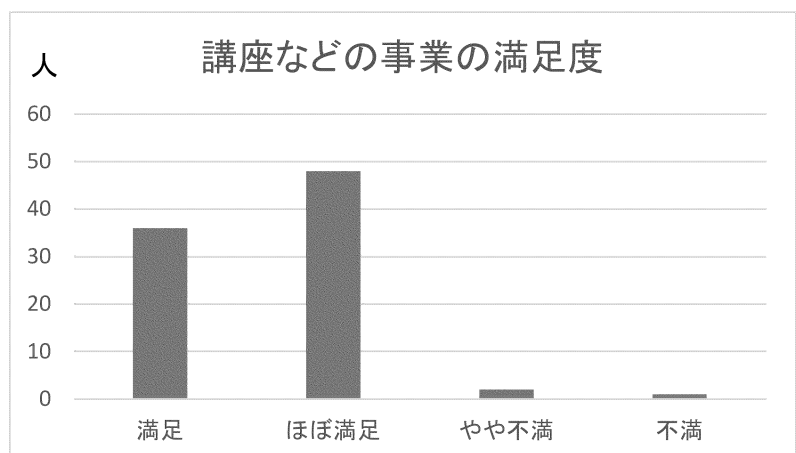
Q5 当施設(スタジオ・パソコン室)の利用料金の設定はいかがでしたか？

| | |
|------|----|
| 高い | 9 |
| やや高い | 15 |
| 適性 | 54 |
| やや安い | 7 |
| 安い | 3 |



Q6 当施設の事業(講座など)の内容はいかがでしたか？

| | |
|------|----|
| 満足 | 36 |
| ほぼ満足 | 48 |
| やや不満 | 2 |
| 不満 | 1 |



令和5年度視聴覚ライブラリー運営目標（案）

築後30年が経過した施設・設備の老朽化への対応として、令和4年度はスタジオ室の空調設備工事、集会室の音響機器更新、通信環境改善、視聴覚機材の一部更新と写真・動画編集ソフトの整備に取り組んだところである。

I C T環境やデジタル技術の進展により視聴覚教育が多様化する中、視聴覚ライブラリーの役割である視聴覚機材・教材の提供及び利用促進、メディアを活用した学習機会の充実等を着実に遂行するため、令和5年度の運営目標を下記のとおり設定する。

1 視聴覚教材・情報の整備充実と利用促進

(1) 学びに役立つ地域映像・画像の収集・提供を推進する。

- ・ 地域の過去及び現在の映像・画像を収集・保存し、未来に継承する映像ライブラリー機能を強化する。地域の特色を表す古い映像や写真の収集だけでなく、現在の記録も後世に残していくため、他部局と連携して広報映像、まちや生活の移り変わりの記録、災害と復興の記録、観光PR動画なども収集・保存の対象とする。
- ・ 地域の人々の営みについて知る機会を広く提供するため、蓄積した映像・画像は図書館のデジタルアーカイブシステムなどを活用して公開する。
- ・ うつのみやを写す会と連携し、地域の自然・風習などの撮影・保存に努める。

(2) 利用者ニーズを踏まえた教材の整備充実を図る。

(3) 視聴覚教材の制作を支援する。

2 視聴覚設備・機材の整備と利用促進

(1) I C T環境やデジタル化の進展に対応した機材を整備する。

(2) 視聴覚設備・機材の利用促進を図る。

- ・ 16ミリ映写機技術者養成講習会を開催して技術者を育成し、16ミリフィルムへの興味・関心を高めて利用を促す。
- ・ 視聴覚設備・機材の利用手続きのオンライン化に向けた検討を進め、利用者の利便性向上を図ることで設備・機材の利用を促す。

3 設備・機材を活用した学習機会提供の充実

- ・ 情報教育の推進関連事業（小学生を対象としたプログラミング教室など）の実施
- ・ パソコン室を活用した講座（映像ワークショップなど）の実施
- ・ スタジオを活用した事業の実施
- ・ うつのみや映写ボランティアの会と連携した各種映画会の開催